



日本共産党の、にひそうへ
い参院比例候補は20日、香
川県の観音寺、坂出、高松の
各市で演説し、立ち止まる通
行人や手を振る人々の姿が目
立ちました。参院選挙区候補

にひ・石田候補演説会 戦争は政治の敗北



定価 月 100円
発行所
民主香川社
高松市藤塚町
3丁目13-14
☎(087)834-7311

の石田まゆ氏も訴えました。
にひ候補は、ロシアの侵略
戦争を批判し、「戦争は政治
の敗北。軍事力で平和は守れ
ない」と述べ、「唯一の被爆
国である日本には特別な役割
と責任がある。核兵器禁止条
約に批准し、国際法に基づい
た自主自立の平和外交こそ必
要」と強調。物価高騰が続く
中での年金減額など『弱い者
いじめの政治』で格差と貧困
を押し付ける自民党政治を批
判し、「大企業の内部留保へ
の課税などを財源に、消費税
を5%に減税し、中小企業を
応援しながら賃金が上がる国
に変えよう」と党の『やさし
く強い経済』を紹介。「全国
比例で5議席必ず国会へ」と

香川選挙区候補は19日、高松
市内で開かれた党後援会主催
の「政治と暮らしを考えるつ
どい」で訴えました。かし昭
二県議、東部地区の池野もと
あき副委員長も発言し、参加
者は配布された「はてな」リ
フや「しんぶん赤旗」5・6月
号外」を手に耳を傾けました。
石田候補は党の掲げる「2
030戦略」を紹介し、「多
くの若者が自分たちの将来に
直結する問題として気候危機
打開を求めて声をあげている。



若年層の政治的関心が高まっ
ている 【2面につづく】

政治と暮らしを考える つどい

日本共産党の石田まゆ参院
香川選挙区候補は19日、高松
市内で開かれた党後援会主催
の「政治と暮らしを考えるつ
どい」で訴えました。かし昭
二県議、東部地区の池野もと
あき副委員長も発言し、参加
者は配布された「はてな」リ
フや「しんぶん赤旗」5・6月
号外」を手に耳を傾けました。
石田候補は党の掲げる「2
030戦略」を紹介し、「多
くの若者が自分たちの将来に
直結する問題として気候危機
打開を求めて声をあげている。

高松市内で開かれた党の分
野別後援会「交流・決起集会」
では、にひ、石田両候補が訴
え、中谷浩一県委員長が報告
を行いました。

異台教太

今回は、元気を頂いた話
をしたと思う。5月8
日、徳島県から引き継が
れた国民平和行進西国コ
ースは、21日午後、三豊市
からわが観音寺市に入っ
た。翌日には昼過ぎ県境
まで行進し、愛媛県に引
き継がれた。この平和行
進を通し行進してきた90
歳の山口逸郎さんを歓迎
してしばし懇談して元気
を頂いた▼21日、私は、
手配した宿舎の近くの食堂で生ビール
と地元の刺身の盛り合わせ（私は地元
の冷酒一本追加したが）を共にしなが
ら懇談した。山口さんが企画・制作を
担当した映画の苦労話や、今回で8回
になる国民平和行進のことなど。「教
育は死なず」「翼は心につけて」は私
も少したったが関わりを持った映画
なので当時の思い出し、話も弾んだ。映
画「教育は死なず」は、1970、8
0年代の激しい私学情勢・生徒の減少・
廃校攻撃による私立高校の存続の危機
を迎え、公立高校と私学との教育格差
を背景に、沢山の問題を抱えた生徒た
ちと正面から真剣に向かい合う長野県
の私立高校の教職員たちをモデルにし
た作品だ。私も東京で、映画と同じ状
況の真つただ中にいたのだった▼友は
連れ合いを亡くして1年。親しい友の
入院や「しんぶん赤旗」集金先で旦那
さんや奥さんを亡くされた話を聞いて
いた矢先だったこともあり、椎間板狭
窄症を抱えてコルセットを巻きながら
元気に歩く90歳の山口さんに私は限り
なく驚異を感じたのでした▼今年7月
15日、日本共産党は山口さんより10年
早く100回目の誕生日（創立記念日）を
迎える。私は20年遅く。「ちょっと
自信はないけど同じ、そこまでを目ざ
して元気で生きていければいいな」と
思った一日であったのだ。（も）

みみの会が総会 制度の質的向上が不可欠

補聴器購
入の補助
制度の先
進事例を
紹介。助
成金だけ
でなく購
入後の使
用訓練な
ど継続的
なケア一
ケアも含
めた制度
の質的向
上が不可
欠だと指
摘。無料
で「聴こえ
の状態」
を把握で
きるアプリ
ケーション
「みんなの
聴脳力チ
ェック」な
どを紹介し
ました。
同会の増
田順子事務
局長は報告
と活動方針
で、「県内
でも議会
での力強
い質疑が
実現してい
る。まず
は署名30
00筆目
標」と呼び
かけました。
交流会で
は、県内
市町でも
「みみの会」
結成を期
待する発言
がありました。
日本共産
党の秋山時
貞県議、岡
田まなみ、
藤沢やよい
両高松市議
、中谷真
裕美丸亀市
議、水谷剛
さぬき市議
が参加しま
した。



加齢性難聴の補聴器購
入の補助と聴こえのバリ
アフリー実現をめざす
「たかまつみみの会」は
16日、第2回総会を開き、
ヒヤリンググループ（磁気
ループ）普及ボランティア
で日本共産党・元台東
区議の杉山光男氏を講師
に「補聴器助成について
各地の運動に学ぶ」と題
した学習と交流を行いました。
杉山氏は全国でひろがっ
ている加齢性難聴による

石田まゆ 選挙区候補に聞く（下）

民青の県委員長時代に、当たり前、8時間働けば
青年の使い捨て労働が全
国的に問題になり、運動
の中で「香川青年大集会」
を企画し、青年革新懇を
作るきっかけになりました
。当時はリーマンショッ
ク後で、実態のアンケー
トを何回もとると、非正
規の声が圧倒的に多かつ
た。コロナ禍を迎えたい
まも状況は変わっていま
せん。女性の非正規の比
率は特に高いです。ケア
労働者の新社会人も、学
生の時代は実習がまとも
にできず授業もリモート
中心だったと聞きました。
社会に出ていくのは大変
だと感じています。
私自身、高校卒業後、
就職は非正規しかありま
せんでした。自己責任論
に陥ったこともありませ
う経験も聞き、香川でも
しかしそのおおもとに政
治の責任があることに気
づきました。「正社員が
声を多く聞きました。



「コロナ禍の大本だと思えます。政
治の責任で規制していく
トができて 必要があります。
くなった」 私は高校生の時に民青
でアルバイトの責任で規制していく
トができて 必要があります。
きない。友人も作れない」
：切実な思いばかりで、
2年たっても学生の大変
さはあまり変わりません。
りか滞った」「せっかくな
入学したのにリモート授
業ばかりでサークルもで
きない。友人も作れない」
また、原発問題や気候
危機問題と関わるなかで
思うのは、大量生産、大
量消費、大量廃棄の今の
社会、「大
洪水よ、わ
が亡き後に
来たれ」の
考え方のつ
けが、回っ
てきていま
す。利潤第
一主義はあ
らゆる問題